

## 第 2 1 回 千丁地域審議会会議録

開催日時	平成 2 4 年 3 月 2 7 日 (火) 13 : 58 ~ 15 : 55
開催場所	千丁支所 2 階庁議室

### ■ 出席委員

会 長	村松 鈴子	委 員	竹本 美智子	委 員	松永 要
副会長	福田 輝美	”	中 寛	”	村田 健一
委 員	川口 重信		永溝 ユリ子	”	吉野 勝子
”	作田 絹子	”	松浦 和久		

### ■ 市出席者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
支所長	森本 俊規	千丁建設事務所長	鶴山 信一
総務振興課長	豊田 孝二	企画戦略課課長	丸山 智子
” 振興係長	上村 和寛	” 企画係長	相澤 誠
” 主任	沢田 幸一郎	” 主任	坂本 友和
市民福祉課長	寺本 修也	市民活動支援課審議員	福島 眞一
千丁農林水産事務所長	松島 秀司	” 主査	井戸 康雄

### ■ その他の出席 なし

### ■ 傍聴者

一般傍聴者	0	名	報道機関	1	名
-------	---	---	------	---	---

## ■ 協議事項

### 1 開会

### 2 挨拶

### 3 議題

合併効果の検証について【資料1、1-1】

### 4 報告事項

①市民アンケートの結果について【資料2、2-1】

②住民自治によるまちづくりの推進について【資料3】

③平成24年度八代市主要事業について【資料4】

### 5 その他

①平成24年度地域審議会を開催について【資料5】

②各地域審議会の開催状況について【資料6】

## ○司会

第21回千丁地域審議会開会。会議成立説明。資料確認（当日配布資料あり）。

## ○会長挨拶

## ○議題

### （1）第21回千丁地域審議会について

#### ①議事「合併効果の検証について」

##### ※企画政策課説明要旨

- ・合併前後の人口、特別職、出生数、職員数、上下水道、国保税、財政等の比較説明。
- ・合併後の事務事業の変化、合併支援措置の活用状況、公共的団体の現状を説明。
- ・合併による市民アンケート結果報告  
良くなった点：窓口での手続き業務の受けやすさの変化、行政職員の応対姿勢の変化、広域的なイベントや行事の変化、移動のための交通環境の変化、文化・スポーツ等での住民相互の交流の変化

悪くなった点：税金や施設利用料金の変化、雇用機会の変化、移動のための交通環境の変化、合併後に実施された公共事業による変化、合併前の地域個性の変化

- ・市民アンケートの結果は市民へ報告し、総合計画後期基本計画の参考にしたい。

#### 《意見・質問》

委員：給水人口について、千丁町は平成16年の普及率が95%で、平成22年度は87.9%と落ち込んでいる理由を教えて欲しい。水道に関しては、八代生活環境事務組合が所管であり、確かな答えは厳しいと思われるが回答願いたい。

歳入決算の普通会計で、依存財源の県支出金が、一年ごとに若干の上下している理由は何か聞きたい。県の範疇になるが、情報があればお聞かせ願いたい。

市税の納入状況について、平成16年度と平成22年度の国保税を比較すると1.9%下がっている。平成23年2月6日の朝日新聞によると、全国の収納率は88.1%で八代市は71.9%と低い。収納率を上げるための対策はなされているのか。

回答：給水に関しては手持資料がないため、生活環境事務組合へ確認する。依存県支出金については、毎年度の事業により補助金額が上下するのが理由と考えられるが、個別については把握していない。国保税の収入状況については、この資料は国保税の過年度分も含まれており、現年度分は92.6%の収納率である。朝日新聞の記事に過年度分が含まれているか分からないが、現年度分は90%を超えている。平成20年度は後期高齢医療制度への移行により減額している。その後、徐々に収納率は上昇している。

委員：平成22年度で70%とはどういう意味か。

回答：本日の資料は、滞納された過年度分を含めた収納率である。現年度分は90%を超えている。当該年度に関しては徴収されている。

委員：滞納されている方は、何年分の滞納があるのか。滞納分は、何年遡って徴収するのか。

回答：個別に関しては把握していない。

委員：滞納された方への督促は行っているのか。長崎では、貯金や年金を調べ支払わせるという、やり過ぎが問題となった事がある。

委員：滞納には払う能力があるのに払わない人、払う能力が無い人の2種類がある。支払う能力のある人に払ってもらう方法を考えるのが課題である。

回答：納税課では、県と合同で徴収や差し押さえを行い、以前より収納率を上げるべく努めている。

委員：下水道について、この資料は利用している人を示しているのか。下水道の整備は済んでいるが、利用していない世帯への対応、啓発活動、世帯の反応等を教えて欲しい。

回答：下水道が整備され接続している事を水洗化率といい、平成23年3月末で68.5%である。接続していない箇所は、7月から12月までシルバー人材センターへ依頼し、戸別訪問をした。接続しない主な理由として、敷地内は個人負担となるため、1軒あたり20～30万円必要となる事、高齢者の単身世帯は、接続が難しい状況にある。戸別訪問は、本人と面談できるまで、何度も足を運んだ。

委員：水洗化率の目標数値が達成できなくなると思われるので、継続して活動をお願いしたい。

委員：上水道を整備するためには、旧郡部は本管敷設に負担金が必要で、旧市は負担金が不要である。これはどうにかできないか。

回答：上水道に関しては、八代生活環境事務組合が行うため、負担金については把握していない。

委員：住民としては、同じ市民税を払うのに、負担金が必要と不要では不整合との話がある。

委員：市民アンケートの良くなった点、悪くなった点で「移動のための交通環境の変化」が挙げられている。なぜこのような回答がなされたのか。

回答：平成23年にバス路線を再編し、今までバスが通らなかった箇所に乗り合いタクシーを導入したためよくなった一方、重複した路線を見直した事で悪くなったとの意見も出されたと思われる。

委員：八代市は、県内では学校の耐震化率が低い水準にある。以前、千丁で耐震工事が行われた際、プレハブでの授業が暑かったと聞いた。子ども達の学習環境を考えた工事をお願いしたい。

## ○報告事項

### ①「市民アンケートの結果について」

#### ※企画政策課説明要旨

- ・3,000枚配布し、1,346枚の回答を得た。回収率は44.9%。
- ・7割が八代に住みやすいと回答。
- ・活気や賑わい、働きがいのある職場がある、演劇やコンサートなどの観劇機会が多いについての満足度が低い。
- ・治安の良さ、災害に対して安全、医療機関の充実などの満足度が高い。
- ・総合計画の認知度が低い。
- ・循環型社会の形成、防災の推進の評価が高かった。
- ・農林水産業振興の評価が低かった。
- ・八代市の今後のまちづくりに特に必要な施策
  - \* 災害に対する備えの充実
  - \* 街灯の設置など防犯事業の推進
  - \* 地域医療・緊急医療体制の強化
  - \* 高齢者福祉サービスや高齢者向け社会福祉施設の充実
  - \* 雇用対策事業の推進

- \* 森林や河川、海などの自然環境の保全
  - \* 担い手、後継者の育成事業
  - \* 生活に密着した道路の整備
  - \* 学校教育の内容と施設の充実
  - \* 音楽や演劇、美術、伝統芸能などの開催の充実
  - \* 行政に市民の声が反映される機会の充実
  - \* 市職員の意識改革、能力開発
- ・このアンケートに加え、市民活動をするNPO団体への聞き取り、職員の意識調査などを行い、平成24年度より総合計画の基本計画に反映させていく。
  - ・本日配布した資料（資料2-2）は、先日開催した地域審議会正副会長会議で、各地域により今後のまちづくりについて必要な施策は違うのではないとの意見が出された事を受け、必要な個所を抜き出した資料である。

#### 《意見・質問》

委員：回収率が50%以下で、特に回答が少ない地域がある。

回答：人口割で配布したため、少ない地域がある。前回のアンケートは39%の回答だったが、今回はそれを上回った。アンケートは1,000枚集まれば大方の傾向は取れると考えている。

#### ②「住民自治によるまちづくりの推進について」

##### ※市民活動支援課説明要旨

- ・第1期先行モデル地域の進捗状況報告。

##### 設立総会日程

- ・代陽：3月23日   ・麦島：3月28日   ・金剛：3月9日
- ・二見：4月20日   ・東陽：5月8日
- ・2月17日、千丁地域を含めた7地域に第2期地域の指定書を交付。
- ・東陽地域の設立準備委員会の状況を説明。
- ・二見地域は、他校区の部会制と違い、既存の組織を並列にした地域協議会を設立。

#### 《意見・質問》

委員：ほとんど地域の会長は校区長で、任期はいつまでか。設立当初は、ある程度の基盤が固まるまでは、一定の方が2期程度を務めるべきと考える。東陽の役員の任期は何年か。

回答：これは設立準備委員会の会長である。地域協議会の設立総会で会長は決定する。どの校区も規約で任期を2年と定めている。すでに設立総会を終了した代陽校区と金剛校区の地域協議会会長は、現在の校区長である。副会長は体育協会長、婦人会長で、任期は同じく2年である。

③「平成24年度八代市主要事業について」

※企画政策課説明要旨

- ・「外へ向かって打って出る」ための施策
  - \*八代ブランド戦略について
  - \*各種大会やイベントなどの誘致について
  - \*新たな航路開設と取扱貨物の増大について
- ・総合計画前期基本計画の重点プロジェクト
  - 活力ある産業プロジェクトについて
  - \*人が集まるまちプロジェクトについて
  - \*子どもが健やかに育つプロジェクトについて
  - \*良好な環境を未来へつなぐプロジェクトについて
  - \*安心安全なまちプロジェクトについて

《意見・質問》

委員：平成23年12月の市議会で、平成9年に熊本県と八代市で「八代工業用水の上水転用にかかる覚書」を交わした。工業団地の整備と企業誘致を推進し、東京事務所などへ市職員を派遣し連携を図ったが、具体的な成果は見られない。今後も積極的に県との連携を図りたいとの答弁がなされた。企業誘致は厳しい状況で、千丁地域への工業団地の検討がなされたが、なかなか進まずに白紙になった。

企業誘致による地域活性化は重要課題と考える。どのような企業誘致対策を行うのか。

回答：誘致する事業を訪問するための旅費、パンフレット印刷、工業用地の情報と実態把握の委託に約360万円、企業振興促進条例の補助金が約4,300万円、企業誘致ができなかった千丁地区の北吉、南吉地区の排水路改修を行う。

新規学卒者の未就職者、再就職へハローワークと連携したセミナー、就職面接会を行う。中高年齢者職業相談事業は、緊急雇用基金が終わっても市の単独事業として行う。

委員：工業振興ビジョンの策定とはどのようなものか。

回答：昨年一年間で民間の方を交えた部会を立ち上げた。最終的には、産業活性化ビジョンとして作成した。公表は議会終了後に行う。

委員：工業団地は白紙になったが、他の場所は検討しないのか。

回答：産業活性化ビジョンの中で検討していきたいが、地場企業の育成、投資拡大を合わせて行うことが柱となる。

委員：千丁校区の工業団地計画はなくなったという事でいいのか。

回答：工業団地は必要だと考えるが、千丁校区の工業団地は市長が正式に断念したと表明した。

○その他

①「平成24年度地域審議会の開催について」

※企画政策課説明

- ・平成24年度地域審議会、正副会長会議の開催予定を説明。
  - \*審議予定項目：八代市総合計画後期基本計画、地域審議会のあり方等
- ・各地区で個別開催を希望する場合は、企画政策課へ報告する。

②各地域審議会の開催状況について

※企画政策課説明

- ・第20回各地域審議会の協議内容、結果報告。
  - \*市民アンケート配布方法の検討
  - \*統廃合後の学校跡地利用について
  - \*スクールバス運行
  - \*民営化を予定していた保育園の民営化見直しを検討
  - \*ケーブルテレビについて

《意見・質問》なし

《最後の意見・質問等》

委員：数年前、千丁小学校へ千丁校区境周辺から小学生の入学があった。その時は例外と考えていたが、現在まで数件になった。八代には自由校区があると聞いた。自由校区とはなにか。

回答：旧八代市には、校区の境目にそのような地区がある。

委員：千丁校区周辺には住宅の建築が続いており、これからも増えると思われる。学校関係を担当する課を教えて欲しい。

回答：教育委員会の学校教育課です。

委員：子どもの活動費は、区費や区の補助でまかなうため、千丁校区以外の子どもの分も活動費を出している事になる。

委員：このような事は、後で問題にならないよう、保護者に慎重に説明をお願いしたい。

回答：この件は、こちらから教育委員会へ報告します。

委員：結婚活動支援事業の担当課を教えて欲しい。

回答：企画政策課が担当している。昨年度から開始した事業で、民間への委託事業である。

委員：笑顔であいさつ日本一とは、どのような事業か。

回答：八代市では挨拶運動を進めており、これからは、広く事業者や学校等を巻き込んだ事業として実施する。そのために、啓発ポスターや幟旗を作成する予算で、市民参加型の事業である。

委員：アンケートの回収率が40%と低い。回収方法に問題はなかったのか。例えば、郵送したアンケートの返送を促すため、電話をするなどの方法は考えたのか。

回答：郵便での返送以外の方法は考えていなかった。3,000枚の配布で50%を目指したが届かなかった。しかし、アンケートは1,000枚の回収で大方の傾向が取れると判断している。

○次回会議について

第22回千丁地域審議会：7月開催予定

○閉会

第21回千丁地域審議会閉会